

あまりはどうすればいいのかな？ 視点2, 5

1. 単元名 あまりのあるわり算 (3年生 6月)

2. 改善の動機・意図

わり切れないわり算において、題意によって、あまりを切り捨てて処理する場合と、「+1」をすることで商に加える場合がある。本時では、問題場面に応じて、商やあまりの処理の仕方を考えていくことの重要性をより認識できるように、似ているが題意の異なる問題場面を同時に提示する。そうすることで、あまりの処理の仕方を問題場面を比べながら、具体的な場面を想像していきけるものと考えた。

3. 授業の構想

【A もんだい】

たまごが14こあります。
4こ入りのたまごケースに入れて全部はこびます。
たまごケースは何ケースいりますか。

【B もんだい】

たまごが14こあります。
4こずつたまごケースに入れて売ります。
たまごケースは何ケースいりますか。

T1 今日2つの問題をします。

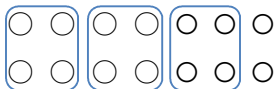
- C1 どちらもいくつ分を求める問題だからわり算を使って求められるね。
- C2 どちらも式は $14 \div 4 = 3$ あまり2になる。
- C3 もとめることは、どちらもたまごケースの数。
- C4 問題はちがうけど、答えは同じになるのかな？

<問題はちがうのに答えは同じかな>

T2 それぞれ何このたまごケースが必要なのか図で表してみよう。

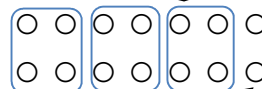
【A もんだい】

3ケースひつようだと思う
2こはあまりとしてのこしておく

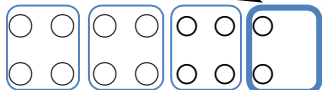


【B もんだい】

Aもんだいとちがって、「ぜんぶ」売るとは書いていない



2このこしたら「ぜんぶ」にならない
「ぜんぶ」はあまりもふくめた数
ぜんぶもって帰らなくてはいけない
あまったたまごを入れるケースがひつよう



「ぜんぶ」売る必要はない
4こじゃないと売れない
2こしか入っていないかごは売れない
2こはあまりとして残しておく

- C5 Aもんだいでは、あまりも1ケースいるから「 $4 + 1 = 5$ 」で、ケースが5こ必要なんだね。
- C6 Bもんだいでは、あまりをくわえないので、答えは4ケースのまま。
- C7 問題の場面によって、答えに「1」を加えたり、答えをそのままにしたりするんだね。
(類題を提示し、AもんだいかBもんだいかを判断させる)

- ① はばが16cmの本だなに、はばが3cmの本は何さつ入りますか。
- ② 23人が ぜんいん のるには、5人のりのボートがいくつ 入りますか。
- ③ 65ページの本を、1日に7ページずつ読みます。ぜんぶ読み終わるには何日かかりますか。
- ④ 19この タイヤを使って、タイヤが4この車のおもちゃを作ります。車は何台作れますか。

